



平成 29 年 6 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社メガネスーパー
代表者名 代表取締役社長 星崎 尚彦
(JASDAQ・コード3318)
問合せ先
役職・氏名 取締役執行役員CFO 三井 規彰
電 話 0465-24-3611 (代表)

中期経営計画（平成 30 年 4 月期～平成 33 年 4 月期）の策定に関するお知らせ

当社は、経営環境の変化等に対応すべく、平成 30 年 4 月期を初年度とする 4 か年の中期経営計画（ローリング）を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本日公表いたしました「株式会社メガネスーパー 17/04 期 決算説明資料」を補足資料としてご参照ください。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は「事業再生期」を脱却した平成 29 年 4 月期以降を「再成長期」と位置づけ、平成 28 年 7 月 19 日付「中期経営計画（平成 29 年 4 月期～平成 32 年 4 月期）の策定に関するお知らせ」にて公表した中期経営計画では、「アイケア」重視のサービス型店舗モデルの一層の強化による事業基盤の強化」と「経営効率の向上」を目標に掲げて取り組んでまいりました。

当計画の初年度となる平成 29 年 4 月期は、豊富な品揃え、地域の眼科医との提携やお客様の利便性を追求したサービス展開を背景にコンタクトレンズの販売が店舗、通販ともに当初想定を大きく上回るペースで成長いたしました。また、「アイケア」の商品・サービスレベルを継続的に強化した結果、眼鏡の販売においてもお客様ごとに異なる視覚機能のポテンシャルを最大限に「引き出すこと」、「生かすこと」を重視したプレミアムレンズの提案力等の販売強化施策が奏功し、お客様あたりの眼鏡一式単価が前年同期比で上昇傾向にあるほか、継続的に既存店活性化策（改装、近隣への移転や店舗面積の縮小等の店舗収益力の強化策）を講じることにより、売上高前年同月比は各月 100%超となるなど、「アイケア」重視のサービス型店舗モデルによる事業基盤の強化は進展しております。

また、「アイケア」重視のサービス型店舗モデルの強化のみならず、同モデルのプラットフォーム化（以下、「目の健康プラットフォーム」といいます。）を進め、アイケア領域で親和性が高いメガネチェーン店や異業種企業との資本・業務提携を強化し、非連続な成長の実現に向けた取り組みも強化してまいりました。

具体的な取り組みとして、目の健康プラットフォームを通じた異業種企業との連携分野では、アイケア関連のサプリメントとして、アスタキサンチンとコンドロイチンの配合特許(※)を活用したオリジナルサプリメント「EYE ラック W」を平成 28 年 12 月 23 日から発売開始いたしました。メガネやコンタクトレンズの提供にとどまらず、アイケアカンパニーとして「現代人の「見る力」を身体の中からサポートする」をコンセプトとした商品展開を図り、「アイケア」の商品・サービスの拡充を図っております。

さらに、事業規模の拡大並びに事業基盤の共有化（以下、「ロールアップ」といいます。）を指向した戦略的な展開を開始し、富山県内に 22 店舗を展開する株式会社メガネハウス（以下、「メガネハウス社」といいます。）の全株式を平成 29 年 1 月 31 日付にて取得いたしました（平成 28 年 12 月 15 日付にて公表した「子会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。）。

このような経営環境等の変化を踏まえ、当社は持続的かつ安定的に収益力を増強し続ける企業となるべく、このたび中期経営計画（平成 30 年 4 月期～平成 33 年 4 月期）を策定することといたしました。

※日本薬品株式会社の有する特許（特許第 5865242 号）を活用し製品化に至っております。

2. 基本戦略（成長のシナリオ）

■目の健康プラットフォームを通じた同業のロールアップを戦略的に展開

当社の強みを活かした「アイケア」重視のサービス型店舗モデルの一層の強化を図るとともに、その発展系として、同プラットフォームを通じた事業規模の拡大並びに事業基盤の共有化を進め、眼鏡小売市場における付加価値需要層領域での競争優位の確立を目指します。

■技術革新を通じた新たな市場開拓を目指すウェアラブル端末事業領域における成長加速

技術革新を通じた新たな市場の開拓を目指し、「視覚拡張」をキーコンセプトに「見え方」「かけ心地」にこだわったメガネ型ウェアラブル端末「b.g.（ビージー）」の商品開発を進めておりましたが、ウェアラブル端末領域の早期事業化を図るため、平成 29 年 5 月 1 日付にて株式会社 Enhanlabo（エンハンラボ）を設立しております（平成 29 年 4 月 18 日公表の「ウェアラブル端末領域における新会社設立に関するお知らせ」をご参照ください。）。

また、子会社化により、当該事業領域における人材強化、ソリューション化に伴うアライアンスや業務・資本提携等を通じた開発資金の調達自由度を確保し、当該事業の成長加速を目指します。

これら基本戦略（成長のシナリオ）を確実に効果的に推進し、当社グループが一層の企業価値向上を実現するためには、環境変化へのスピーディな対応が不可欠であり、機動的かつ柔軟な経営判断を可能とする体制のもと、ガバナンスの強化とともにグループ会社の採算性の明確化を図っていくことが不可欠と考えております。そのため、本日付「単独株式移転による純粋持株会社体制への移行に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社グループは、平成 29 年 7 月 26 日開催予定の第 41 期定時株主総会における承認決議など所定の手続きを経た上で、平成 29 年 11 月 1 日（予定）を期日として、当社単独による株式移転により純粋持株会社（完全親会社）である「株式会社ビジョナリーホールディングス」を設立することを決定しております。また、純粋持株会社体制への移行後も財務体質の強化と事業基盤の安定化を最優先とし、早期の復配を目指すと共に、東京証券取引所第二部への上場も目指していく方針です。

以上より、本中期経営計画は、純粋持株会社体制への移行を見据え、グループ内の事業基盤並びにグループ各社の経営基盤の共有化による経営効率の向上と当社グループの収益力増強を図ることを目標として数値化しております。

コスト面では、店舗費用が固定費的である一方、既存店売上前年比は平成 29 年 4 月期に引き続き今後も 100%超で推移する事を見込んでいることから、販管費率は今後逡減し、売上の増加に伴って収益力の強化が進展していく見込みです。

なお、目の健康プラットフォームを通じた同業のロールアップについては、本中期経営計画の目標数値に織り込んでおりませんので、新たな取り組み決定により業績への影響がある場合は適宜お知らせする方針です。

3. 数値目標

（単位：百万円）

	H29. 4 月期 実績	H30. 4 月期 業績予想	H31. 4 月期 計画	H32. 4 月期 計画	H33. 4 月期 計画
売上高 (前期比)	17,892 (113.9%)	20,630 (115.3%)	23,030 (111.6%)	25,620 (111.2%)	28,670 (111.9%)
売上総利益 (前期比)	11,778 (110.0%)	13,428 (114.0%)	14,850 (110.6%)	16,363 (110.2%)	18,087 (110.5%)
販売費および一般管理費 (前期比)	11,355 (111.5%)	12,728 (112.1%)	13,720 (107.8%)	14,763 (107.6%)	15,857 (107.4%)
営業利益	422	700	1,130	1,600	2,230

(前期比)	(80.8%)	(165.6%)	(161.4%)	(141.6%)	(139.4%)
経常利益 (前期比)	336 (79.8%)	600 (178.3%)	1,030 (171.7%)	1,500 (145.6%)	2,130 (142.0%)
当期純利益 (前期比)	110 (42.4%)	230 (207.7%)	640 (278.3%)	1,040 (162.5%)	1,630 (156.7%)
EBITDA (※)	869	1,258	1,684	2,168	2,795

(注) 平成29年4月期第3四半期から連結決算に移行のため、H29.4月期、H30.4月期の前期比は参考値

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費+長期前払費用償却費+除去債務償却費用+株式報酬費用

(ご参考①：主要KPI)

	H29.4月期 実績	H30.4月期 業績予想	H31.4月期 計画	H32.4月期 計画	H33.4月期 計画
営業利益率	2.4%	3.4%	4.9%	6.2%	7.8%
売上総利益率	65.8%	65.1%	64.5%	63.9%	63.1%
-) 販管費率	63.5%	61.7%	59.6%	57.6%	55.3%

(ご参考②：眼鏡等小売事業における主要KPI)

■株式会社メガネスーパー

既存店前年比	H29.4月期 実績	H30.4月期 業績予想	H31.4月期 計画	H32.4月期 計画	H33.4月期 計画
眼鏡	98.9%	104.5%	104.0%	104.0%	104.0%
コンタクトレンズ	129.6%	116.5%	110.0%	110.0%	110.0%
補聴器	100.5%	112.2%	104.0%	104.0%	104.0%

出店政策	H29.4月期 実績	H30.4月期 業績予想	H31.4月期 計画	H32.4月期 計画	H33.4月期 計画
新店	19	12	12	12	12
移転	7	6	6	6	6

■株式会社メガネハウス

既存店前年比	H29.4月期 実績	H30.4月期 業績予想	H31.4月期 計画	H32.4月期 計画	H33.4月期 計画
眼鏡			105.0%	104.0%	104.0%
コンタクトレンズ			113.0%	115.0%	115.0%
補聴器			104.0%	104.0%	104.0%

(ご参考③：技術革新を通じた新たな事業領域(株式会社Enhancelabo)のKPI)

(単位:百万円)

	H29.4月期 実績	H30.4月期 業績予想	H31.4月期 計画	H32.4月期 計画	H33.4月期 計画
売上高		38	296	586	1,172
営業利益		△10	55	162	402

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上